

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

一般の部

令和三年度七月 入賞句一覧

投句数

六百二十五句

特選



長野 美代子 選

靴ひもを結んで夏へ勝ちに行く

不破郡垂井町

中嶋 結映

今年はずの外に暑さに唯々あきれるばかりです。少しでも雨を待っています。さて此の句は若く素晴らしいですね。「夏に勝ちに行く」私も言いたいです。今はオリンピックです。まず夏に勝たねばと思います。これから今の心を俳句にして残してください。

噴水の飛沫を風の振り回す

大垣市

宇佐美 昭子

清涼しい句ですね。噴水が穂を競うかに高く高くあがり、ばさつと崩れる様は、一瞬涼しさを感じます。「風が振り回す」とは素晴らしい表現ですね。八方に飛び散る水しぶきが太陽により七色に輝くかもしれないと想像すると嬉しくなります。美しい句ですね。

負けて泣く幼き剣士若葉風

埼玉県さいたま市

澤田 紫

爽やかな句ですね。大きくなったらオリンピックで金メダル取ってね。楽しみにしています。若葉風がいいですね。ガンバってね。

秀逸

色付きて枇杷の実と知る下校の児

不破郡垂井町

小坂 久美子

水めぐる滴る山に雲の湧く

大垣市

竹野 美咲子

栗の花紙縫の如し雨雫

大垣市

矢代 由美子

梅の実の雫翡翠の色に染む

不破郡垂井町

川瀬 慶泉

落されて転り笑ふ青き梅

不破郡垂井町

児玉 昌巳

昨夜の雨茅の輪くぐればひと雫

大垣市

岡田 あや子

水打ちて打ちてうち消す日の匂ひ

大垣市

田中 雅子

雨蛙程よく揺れる葉に眠る

大垣市

高田 雅章

あじさいより大好きなもの父の顔

大垣市

新井 千恵子

いつも彼の靴下に穴南風吹く

大垣市

安藤 みき

入選

一般の部

水鏡して万緑の世界かな

大垣市

北浦 典子

振る塩をたつぷり鮎の踊り串

岐阜市

堀江 美州

水すまし水を濁さず水を蹴る

兵庫県芦屋市

田原 トミエ

梅雨出水黙のうねりの木曾三川

大垣市

傍島 豊子

節くれの手でふる鮎の化粧塩

大垣市

傍島 隆

岐阜提灯掛けし川宿夕帳

不破郡垂井町

西垣 和志

枝折り戸へ川瀬の響き鉄線花

不破郡垂井町

久保田 紘義

青葉風ゆれるこもれ日笑い声

揖斐郡池田町

南 智文

そよそよと水面を揺らす青葉風

揖斐郡揖斐川町

高坂 直美

麦秋やローカル線の窓の風

大垣市

大原 巖

裏庭の柿にさつきの雨の粒

不破郡垂井町

大羽 志津子

風はみな光となりて若葉道

大垣市

神野 武彦

代田水さざなみ影を崩しゆく

本巢市

小泉 裕子

木曾川に白雲浮かべ昼鶉飼

大垣市

香田 末代

見霽かす青田波打つ美濃の里

大垣市

坪井 克枝

足裏に風よく通る三尺寝

大垣市

宮脇 和子

帽子屋にいろんな夏が来てをりぬ

大垣市

村田 通夫

風鈴の鳴らぬ丑三つ水の音

大垣市

永江 美佳

紫陽花の藍を離るる雫かな

三重県四日市市

後藤 允孝

一村のまるごと青田風の中

安八郡神戸町

高橋 日出美

選者吟

開け放つ寺佛にも青田風

美代子

